

議 事 録

| | | | |
|------|--|--|--|
| 会議名 | 釧路市障がい者自立支援協議会 第1回全体会 | | |
| 事務局 | 釧路市障がい福祉課 釧路市障がい者基幹相談支援センター | | |
| 開催日時 | 令和元年5月30日(木) 13:30~15:00 | | |
| 開催場所 | 釧路市役所防災庁舎 5F 会議室 A | | |
| 出席者 | 委員 | 出席者 28名 (事項全体会出席者名簿参照) | |
| | その他 | なし | |
| | 傍聴者 | 釧路市障がい福祉課：田仲主査 | |
| | 事務局 | 釧路市障がい福祉課：白山課長補佐、竹腰専門員、島主査 釧路市障がい者基幹相談支援センター：金子、布田、脇田 | |
| 会議次第 | <ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱状交付式 2 開会 3 挨拶 釧路市障がい者自立支援協議会会長 戸田 竜也 4 委員紹介 5 事務局紹介 6 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> ①釧路市障がい者自立支援協議会運営会・定例会の開催結果について ②令和元年度障がい福祉課主要事業の概要について (2) 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> ①地域生活支援拠点等の整備について (3) その他 7 閉会 | | |

議 事 内 容

令和元年度 第1回釧路市障がい者自立支援協議会 全体会 出席者名簿

任期 2018年6月1日～2020年5月31日

| 委員氏名 | 所属機関 | 職名等 | 備考 |
|-----------|-----------------------------------|-------------------|---------|
| 戸 田 竜 也 | 北海道教育大学 釧路校 | 准教授 (キャンパス長補佐) | |
| 吉 川 侑 子 | 地域生活支援センター・ハート釧路 | 主任 | |
| 横 山 豊 | 社会福祉法人 釧路のぞみ協会 自立センター | 所長 | |
| 波 間 良 隆 | 相談支援事業所 地域支援センターつばさ | 管理者 | |
| 高 谷 さ ぶ み | くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センター・ぷれん | センター長 | 雇用就労部会長 |
| 博 田 秀 治 | 釧路市社会福祉協議会 在宅福祉課 | 課長補佐 | 生活支援部会長 |
| 篠 田 奈 保 子 | はるとり法律事務所 | 弁護士 | 権利擁護部会長 |
| 桐 澤 勝 弘 | 市立釧路総合病院 医療連携相談室 | 室長 | |
| 仲 條 正 輝 | 北海道釧路養護学校 | 副校長 | |
| 表 共 良 | 一般社団法人 北海道中小企業家同友会くしろ支部 | 幹事 | |
| 福 岡 禎 仁 | 一般社団法人 釧路身体障害者福祉協会 | 事務局長 | |
| 佐 藤 み ち る | 特定非営利活動法人 釧路手をつなぐ育成会 | 監事 | |
| 鎌 田 ミ チ 子 | 釧路肢体不自由児者父母の会 | 副会長 | |
| 小 野 美 智 子 | 釧路盲人福祉協会 | 会長 | |
| 大 野 美 紀 | さはみす | | |
| 伊 藤 克 也 | オフィスきらり | | |
| 橋 本 秀 子 | 北海道難病連釧路支部 | 事務局長 | |
| 松 木 美 穂 | 釧路総合振興局保健環境部保健行政室(北海道釧路保健所) 健康推進課 | 課長 | |
| 白 戸 達 彦 | 釧路総合振興局保健環境部 社会福祉課 | 主査 | |
| 平 井 奏 | 釧路公共職業安定所 専門援助部門 | 上席職業指導官 | |
| 吉 田 崇 文 | 釧路警察署 生活安全課 | 課長 | |
| 細 川 和 則 | 北海道社会福祉事業団 白糖学園 | 学園長 | |
| 瀧 山 征 治 | 釧路市民生委員児童委員協議会 | 会長 | |
| 植 木 仁 次 | 社会福祉法人 釧路市社会福祉協議会 | 事務局長 | |
| 山 崎 征 勝 | 釧路市連合町内会 | 副会長 | |
| 奥 山 保 美 | 釧路市こども保健部こども支援課 | 課長補佐 | |
| 鈴 木 紀 子 | 釧路市学校教育部教育支援課 | 課長補佐 | |
| 熊 谷 瑠 美 子 | 釧路市福祉部障がい福祉課 | 課長 | |

議 事 内 容

- 1、委嘱状交付式
- 2、開会
- 3、挨拶 釧路市障がい者自立支援協議会会長 戸田 竜也
- 4、委員紹介
- 5、事務局紹介
- 6、議事

(1) 報告事項

①釧路市障がい者自立支援協議会 運営会・定例会の開催結果について

○篠田運営会長より報告。2月21日、5月21日に開催している。地域生活支援拠点等の整備について、釧路市でどう整備していくかについて議論している。

○高谷定例会議長より報告。定例会は5月、11月に予定している。上記同様、地域生活支援拠点等の整備については、オール釧路で取り組み、協力出来る事業所は協力していくことで共有している。

②令和元年度障がい福祉課主要事業の概要について

○釧路市障がい福祉課より説明。障害福祉サービス費事業、障害児通所給付費事業、成年後見センター事業、就労支援強化事業、手話等普及啓発促進事業、障がい者差別解消推進事業、障がい者アート特別啓発事業を行なう。

(2) 協議事項

①地域生活支援拠点等の整備について

○プロジェクトチーム会議事務局より地域生活支援拠点等整備について説明。

・目的については、緊急時の迅速・確実な相談支援の実施・短期入所等の活用及び体験の機会の提供を通じて、施設や親元からGH、一人暮らし等への生活の場への移行をしやすくする支援を提供する。整備手法については多機能拠点整備型と面的整備型がある。機能については、相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくりの5つの機能。市として5つ全てを整備するのは難しい。令和2年度末までに、相談と緊急時受け入れ対応を整備していきたいと考えている。

○各専門部会で役割を分担して協議を進めており、相談機能については相談支援部会にて、緊急時の受け入れ・対応については、相談支援部会と生活支援部会で協議を進めている状況。専門部会での協議の状況とその後プロジェクトチーム会議での協議の状況を報告。

・相談機能については、相談支援部会で検討している。1対象、2対応、3時間、4人員、5場所、6設備の項目で検討。初年度はスモールスタートで行っていくことを共有。

・緊急時受け入れ・対応については、生活支援部会で検討。短期入所の空スペース利用による定員超過受け入れ、緊急受け入れ短期入所の利用ルールの作成、「チーム支援」意識の共有について協議している。

【質問・意見】

・新しい事業を行う経費について予算を立てていくには根拠が必要。また共通の目標を設定しないと一丸で取り組むということになりづらい。全員で取り組まないと達成できないのでは。

⇒予算については、難しい財政状況もあるが、必要なものは要求していくが既存の資源も活かしてい

議 事 内 容

く。人件費、人材の確保の課題については事業所の理解や協力が必要になってくる。共通目標を設定し進んでいく必要があると認識している。相談支援事業所の力量も必要。チームによる支援・協働が重要。

・相談支援機能の1室についてはどの建物か。また体験の機会・場の提供については、障がい児を持つ親としては期待している。そこを実現して欲しい。

⇒部屋については未定。これからの議論になる。体験の機会・場の提供については今後の課題として協議していきたい。

・高齢者を含む問題について、民生委員、地域包括支援センターと町内会での情報共有の必要性を感じる。行政や地域包括支援センターに行っても対応できないと言われることもある。

⇒福祉部内では連携体制を構築している。関係機関の障がい者自立支援協議会の専門部会への参加も増えており、顔の見える体制を整えている。複合的な問題については、くらしごとを相談窓口として関係機関との連携・調整を行っている。

・拠点については、困った人が市役所に行くのか、それとも来てくれるのか。

⇒休日夜間の相談体制をどうするのが課題である。電話対応が基本だが必要であれば出向く事がある。

・民生委員として、地域包括支援センター、行政ともつながっている。夜間の対応もしている。200～300人に1人民生委員がついており、関係機関との連携・連絡体制は取っている。もっと民生委員を頼ってほしい。

(3) その他

①第34回全国車いすマラソンが7月14日(日)に開催。6月14日必着で申込みとなっている。当日は選手への声援をお願いしたい。また交通規制も入るのでご理解を頂きたい。

②ふれあい広場について、6月30日(日)10:00～国際交流センターで開催。演劇やテーマに沿った催事等がある。今年度は講演会やビールの提供はなしとなった。

③ぴゅあめいどまーけっとの10周年感謝祭を7月6日(土)10:00～14:00で開催。釧路圏障がい者自立支援施設協議会(くしろさぼーとねっと21)の団体が出店する。軽食等もある。

7、閉会